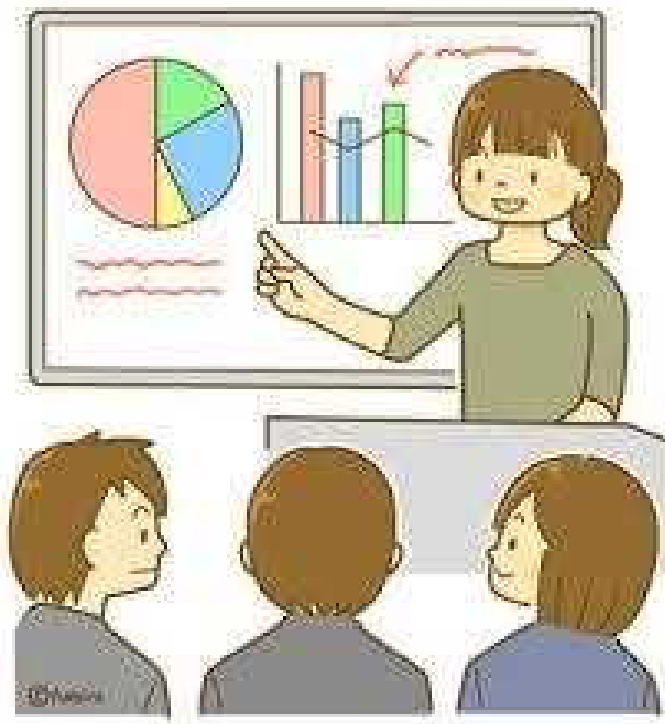


宮崎県立宮崎西高等学校
令和3年度 高校3年生ポスターセッション

実施要領
(2021.6.23版)

前日準備:2021年7月6日(火)5～7限目
発表当日:2021年7月7日(水)1～7限目
自己評価:2021年7月8日(木) 7限目



研究部・SSH推進課

【1】 目的

これまでの各自の探究活動の成果をまとめ、ポスターセッション方式で発表する。協働的にポスター制作に取り組むことを通して、情報をまとめる力や他者にわかりやすく伝える表現力の育成を目指す。また、参観者との質疑応答、感想コメント等により、他者の多様な視点や価値観、考え方と自らのそれらと比較させ、自らの活動を論理的かつ批判的に省察させる。さらに、保護者や学校評議員、有識者等への公開により、高い水準からの助言を得ることに意欲をもち、積極的に校外に発信する態度を養う。

【2】 育成すべき資質・能力：(NFC)感性・探究心・主体性・行動力・自他肯定力・協働力 (SSH)批判的思考力・協働的思考力・表現発信力

【3】 日時・日程

《発表前日》7月6日(火)

高3生は午後5～7限目の授業を行わず、準備に入る。
(正副担任で分担し生徒掌握、SSH推進課員も補助に入る)
(校務支援システム上は総合的な探究の時間となる)

5限目 放送による諸注意(進行:生徒実行委員長)

会場設営

- (1) 教室の机16台、発表者用椅子4脚、休憩用椅子6脚を残して、残りは廊下に1列に並べる。並べきれない机・椅子は物理教室前に整然と並べる。
- (2) 総合学習係は高校自習室前に配布物を取りに行く。(担当:SSH推進課)
配布物:模造紙,スティック糊,パネル(各クラス12~13枚),
クリップ(各クラス48~52個),ポスター番号札(クラス生徒分)
- (3) 配布物を配布後、各クラス出席番号21番以降の生徒は割り当ての特別教室の設営・準備に行く。
※ 私物は、バッグに入れ教室ロッカーに入れておく。貴重品は各自で管理する。
※ 総合学習係はすみやかに移動できるように誘導する。

6, 7限目 ポスターの貼り付けとリハーサル

- (1) ポスターを模造紙に貼り付ける。
(理科棟の9教室でも作業することができる:教室配当は下表参照)
ポスター制作後は、各クラスで責任をもって理科室・使用教室の清掃を行うこと。糊の跡やゴミを残さないよう、設備・機器等に手を触れないよう、特に注意する。制作完了したポスターは、各会場(下表)に運び込む(理科室に保管しない)。ポスターの配置等のレイアウト(特別教室)は、次ページに示す。
- (2) 時間があればリハーサルを実施する。
(発表者が説明した後、他の生徒が質問し、発表者が応答する。各自、発表内容を整理しておくこと。)

夕課外を中止する(各教室で会場設営がしてあるため)

〈理科棟で作業する場合の教室配当〉

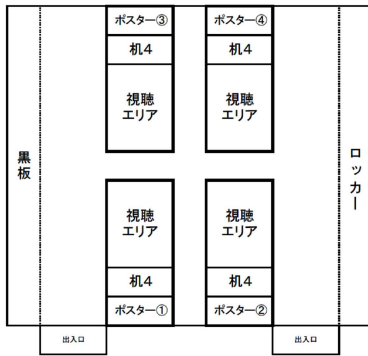
1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
物理第1教室	物理第2教室	生物講義室	生物第1実験室	化学講義室	化学第1実験室	物理第3教室	生物第2実験室	化学第2実験室

〈ポスターセッションの各会場〉

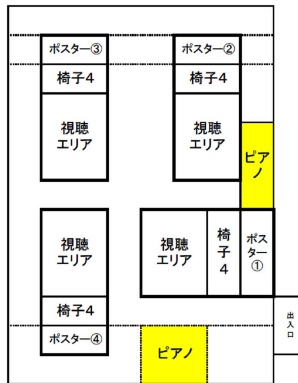
1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
選択教室Ⅱ	音楽室	美術室	書道室	図書閲覧室	PC教室	視聴覚室前	視聴覚室後	補習科教室

特別教室ポスターセッションレイアウト

(A) 選択教室Ⅱ(3-1担当)は3年各教室と同様
つり下げフック4カ所



(B) 音楽室(3-2担当)
ホワイトボード4枚



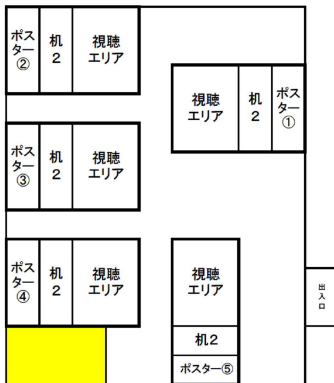
残りの椅子は教室の隅か廊下に整理する
※視聴覚室より机を入れてもいい。

(C) 美術室(3-3担当)
ホワイトボード5枚



残りの机・椅子は教室の隅か廊下に整理する

(D) 書道室(3-4担当)
ホワイトボード5枚



残りの椅子は教室の隅か廊下に整理する

(E) 図書閲覧室(3-5担当)
ホワイトボード4枚



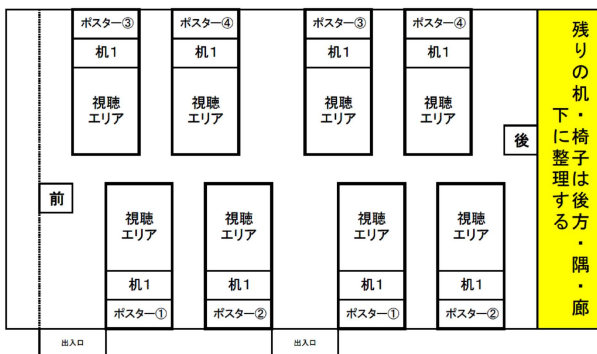
残りの机・椅子は教室の隅に整理する

(F) PC教室(3-6担当)
ホワイトボード4枚



残りの机・椅子は教室の隅か廊下に整理する

(G) 視聴覚室・前(3-7担当)・後(3-8担当)
ホワイトボード4枚×2



(H) 補習教室(3-9担当)
ホワイトボード4枚



残りの机・椅子は教室の隅か廊下に整理する

《発表当日》7月7日(水)

高3生は終日、授業を取りやめる(校務支援システム上は総合的な探究の時間)
高3生のみ朝課外を中止する(会場設営してあるため)

1限目 開会式(13分間の予定。進行:生徒実行委員長)

校長室から教室へリモート配信し、高3生は自分のクラスで式に参加する。

- ① 校長 開会のことば(5分)
- ② 全体説明(3分)(SSH推進課主任)
- ③ 諸注意・諸連絡(5分)(きみろんⅢ担当者:杉本)

開会式終了後、高3生は各発表場所へ移動して発表準備(約35分間)

2～6限目 発表

発表方法は【4】を 参観の方法(在校生)は【5】を 校外への公開は【6】を
各会場の監督者(別掲)による評価の方法は【6】を それぞれ参照のこと
高校3年の耕心(教室・廊下)は可能な範囲で行う。

下表:ポスターセッション会場 および発表順の割り振り。数字は出席番号。

ポスターセッション会場 および 発表順の割り振り

会場	1Term(2限)	2Term(3限)	3Term(4限)	4Term(5限)	5Term(6限)	会場	1Term(2限)	2Term(3限)	3Term(4限)	4Term(5限)	5Term(6限)
3年1組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	選択教室Ⅱ	21～24	25～28	29～31(3名)	32～34(3名)	
3年2組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	音楽室	21～24	25～28	29～32	33～35(3名)	
3年3組	1～5	6～9	10～13	14～17	18～21	美術室	22～26(5名)	27～30	31～34	35～38	39～42
3年4組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	書道室	21～25(5名)	26～30(5名)	31～34	35～38	39～42
3年5組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	図書閲覧室	21～25	26～30	31～34	35～38	39～42
3年6組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	パソコン室	21～25(5名)	26～29	30～33	34～37	38～41
3年7組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	視聴覚室前	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)
3年8組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	視聴覚室後	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)
3年9組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	補習教室	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)

7限目 各発表会場で撤収・物品の返却(16時10分までに終わらせる)

各教室を完全に復旧し、翌日の授業に支障がない状態にすること。

物品は高校自習室横へ返却する。

閉会式(16時15分から13分間の予定。進行:生徒実行委員長)

校長室から教室へリモート配信し、高3生は自分のクラスで式に参加する。

- ① 校長 全体講評(5分)
- ② 生徒実行委員長の話(3分)
- ③ 諸連絡(5分)(きみろんⅢ担当者:杉本)

終礼

夕課外を中止する

《発表翌日》7月8日(木)7限目 ※ 平常授業

7限目 総合的な探究の時間(きみろんⅢ)で自己評価と振り返り

これまでの自分の活動を教室で、ルーブリックで評価する(指導は副担任)。

マークシートに記入し、回収・集約後はSSH推進課(中原)にまとめて提出。

発表者が受けとった感想コメント用紙(【4】の(3))も回収し、SSH推進課(中原)にまとめて提出。

集約結果はSSH事業報告書に記載し、それを文部科学省・県教育委員会等に提出する。

【4】発表方法の詳細

- (1) 指定された様式でポスターを作成し、勝手に様式を変えてはならない。
- (2) 発表者は各自、研究部SSH推進課によって割り振られた会場で発表を行う。クラスの教室が会場の場合、パネルに自分のポスターをクリップで留めて発表する。特別教室が会場の場合は、ホワイトボードに棒磁石でポスターを貼って発表する。
- (3) 各自の指定された時間(1Term, 50分間)をフルに使って、できるだけ多くの参観者(聴衆)に自分の成果を発表し、聴衆からコメント用紙を受けとること。発表中に受けとったコメント用紙は捨てずに保存し、翌日の自己評価や振り返りに活用する。活用後は、学級でまとめて回収し、SSH推進課に提出する。
- (4) 聴衆がポスターの前に来たら、積極的に話しかけて発表を始めてよい。
- (5) 理解しにくいことは時間をかけて詳しく説明したり、逆に聴衆が既に理解していると思われることは短時間で簡潔に話したりと、聴衆の反応を見ながら説明に緩急をつける。発表や質疑応答の時間を区切ることはしないが、1回の発表を15分程度を目安に行う。
- (6) 感染症対策として密を避けるため、各会場とも1時間(50分)あたり4名しか発表できない。出席番号1～20番の生徒はクラスの教室で発表し、出席番号21番から後の生徒は特別教室で発表するように割り振られている。
- (7) 発表者は全員マスクを着用する。ポスター前に置かれた机より前に出て発表してはいけない。

【5】参観の方法(在校生)

参観者(聴衆)全体に共通すること

- (1) 発表を意義深いものにするには、発表者だけでなく、参観者(聴衆)の役割も大きいことを認識させたい。
- (2) 参観者は全員マスクを着用し、筆記用具を持参する。
- (3) 参観者(聴衆)は、配布された要旨集やガイドブックをみて、興味のあるテーマを扱ったポスターのところ(会場)に行き参観する。
- (4) 各発表会場にいる監督の先生の指示に従って行動する。特に、会場の参観者が多人数になった場合は、混雑を避けるため、会場の参観者数を制限する。(1教室・会場に35～40名程度を上限とする)
- (5) 発表や質疑応答中は、ポスター前に並べられた机よりも前には出てはならない。
- (6) 発表を聞いたら疑問点を必ず質問し、討論するように心がける。質疑応答が終わったら必ず、その発表について指定の用紙にコメントを真摯に書き、発表者に手渡す。指定のコメント用紙は、事前配布するとともに会場にも準備しておく。

その時間(Term)に発表のない高校3年生について

- (1) 会場を回って、できるだけ多くの発表を聞き、よい点を自分の発表に取り入れる。
- (2) 会場の状況を見て混雑(密)を避ける。1教室(会場)に35～40名が上限である。特に、セッションの趣旨も踏まえ、自分のクラスだけに留まらないようにする。
- (3) 1つのポスター発表や会場に長時間滞留したり、発表者を冷やかしたり、騒ぐなどして発表を妨害したりなどは、決してしないこと。

高校2年生および附属中学校3年生について

- (1) 下表の特編時間割に示された指定時間に、できるだけ多くのポスター発表を聞く。疑問点は積極的に発表者に質問する。ただし、附属中学生は学級担任がつき、管理棟(特別教室)のみ参観する。

7/7 きみろんⅢ(ポスターセッション) 参観クラス時間割											
	中3の1	中3の2	2の1	2の2	2の3	2の4	2の5	2の6	2の7	2の8	2の9
1Term ②限				○ (芸術)				○ (数学)			
2Term ③限						○ (情報)	○ (数学)				
3Term ④限									○ (数学)	○ (数学)	○ (数学)
4Term ⑤限	○ (探究)	○ (探究)									
5Term ⑥限			○ (芸術)		○ (芸術)						

- (2) 高校3年生の成果発表をふまえ、将来は自分でよりよい探究ができるよう、自分の探究テーマを考える機会にする。
- (3) 自分の教室を施設してセッションを参観する。貴重品は各自で持ち、管理する。
※ 中学生に対しては、「探究」の時間を利用して事前に説明しておく。

【6】 校外への公開

- (1) 外部からの参観者は、次のように限定して公開する。別途、案内文を用意し送付する。
 - SSH運営指導委員
 - 学校評議員
 - PTA役員, 理事, 高校3年PTA学級委員
(将来的には、高校3年保護者、他校の教職員等の参観も検討する)
- (2) 参観者は来校して随時、事務室窓口で記名受付(事務部に依頼)を行い、ポスターセッション要旨集と参観アンケート用紙を受けとったのち、直接 発表会場に向かう。
参観アンケート用紙は、事務室窓口付近に回収箱を用意しておく。
- (3) 控室は設けない。(必要ならば、事務室に最も近い化学講義室を利用する。)
- (4) 校外からの参観者の駐車場を準備する。職員は、管理棟北 池側の駐車場を空ける。

【7】 各会場の監督者による評価の方法

- (1) 別掲の特編時間割に基づき、各会場に監督者を配置する。監督者は、1回の発表が15分間程度と考え、各会場の発表が円滑に進んでいるかを観察し、適宜、指導する。特に混雑する(密になる)ようであれば、35~40名を上限として入室者数を制限する。
- (2) 各会場の監督者は、iPadにより会場の生徒ポスターに対してルーブリック評価を行う。最低でも2枚以上抽出し(最大は1会場4, 5枚)、できるだけ多くのポスターを評価する。これにより、探究活動のゴールイメージを多くの先生方と共有し、探究的活動とSSH事業の全校体制を進めたい。
- (3) iPadによるルーブリック評価の具体的な方法は別途、マニュアルを示す。
- (4) ポスターセッション活動について優劣をつける、コンテスト的な「審査」は行わない。生徒へのフィードバックは、発表者に対する感想コメント用紙によって行う。(感想コメント用紙中に、ルーブリック評価の一部を導入する)

【8】 生徒実行委員会

- (1) 3学年各クラスの総合学習系の生徒を実行委員とし、生徒実行委員会を組織する。
- (2) 生徒実行委員会は、SSH推進課の指示で次の役割を担う。
 - 会場設営と撤収
 - 開・閉会式の運営
 - 全体放送
- (3) 次のように、実行委員会を開催する。
 - 第1回 6月10日(木) 15:30~(3年1組教室)
 - ・概要説明 および 実行委員長の選出, 決定
 - 第2回 6月24日(木) 7限目 総合的な探究の時間(高校自習室)
 - ・当日の確認 および 物品の準備
 - 第3回 7月2日(金) 期末考査最終日の終礼後()
 - ・最終確認

【9】 準備物・その他

- (1) 準備物
 - ポスター用の物品: 発表用模造紙, スティック糊(山下, 宮本)
 - ポスター番号札(3年生徒分)(溝上)
 - パネル(1クラス12~13枚), ホワイトボード(山下, 宮本, 溝上)
 - クリップ(1パネルあたり4個, 各クラス48~52個)(山下, 宮本)
- ☆5月下旬のLHRか金曜7限に3年副担任にポスター作成講座を実施する。(溝上)
- 「ポスターセッション要旨集」510冊: 高3生徒, 職員+外部参観者50名(山下, 宮本)
 - 高2生, 中3生用ガイドブック(校内印刷で対応)(山下)
 - 外部参観者への案内文書(中原, 山下, 渉外厚生課)
 - 感想コメント用紙と回収(中原, 3年副担任)
 - 高3生自己評価用紙(中原, 3年副担任)
 - 各会場監督者によるルーブリック評価とiPad操作マニュアル(中原, 東口)

(2) 当日の役割

- 校長室からの開閉会のリモート配信 (図書情報課, SSH推進課)
- 校外参観者への対応 (事務部窓口, SSH推進課)
- 生徒実行委員会 (杉本, SSH推進課)
- 写真・動画撮影による記録 (SSH推進課)

7/7(水) ポスターセッション 各会場の監督(評価者)一覧

敬称略	①限 開会・諸連絡	②限 (1term)	③限 (2term)	④限 (3term)	⑤限 (4term)	⑥限 (5term)	⑦限 閉会・終礼
3の1	眞鍋	代継	柿木	眞鍋	中馬越		杉本
選択教室Ⅱ		穴井	牧野	甲斐奎	安田	高山	(杉本)
3の2	中川	新垣	甲斐一	鬼塚	山崎慎		田中
音楽室		黒木真	野村	厚地	馬庭	黒木真	(田中)
3の3	甲斐奎	眞鍋	三木	日高隆	小宮	石崎	野村
美術室		根井	厚地	堀内	鬼束	穴井	(野村)
3の4	中野	山崎俊	池田憲	中川	田島	鬼塚	安田
書道室		津島	黒木孝	津島	興梠	野村	(安田)
3の5	中馬越	三木	菅	中馬越	岩下	柳田大	河野政
図書閲覧室		牧野	河野政	勝吉	高山	佐多	(河野政)
3の6	日高隆	田島	根井	那須	落合	日高隆	三木
PC教室		小宮	持原	黒木弘	寺原	眞鍋	(三木)
3の7	山下育	中馬越	相星	河野翔	日高光	中川	厚地
視聴覚室前		安田	鬼束	馬庭	石崎	代継	(厚地)
3の8	高山	落合	浅井	持原	河野政	勝吉	根井
視聴覚室後		日高隆	高山	渡辺	後藤	中野	(根井)
3の9	浅井	甲斐奎	那須	菅	中武	浅井	鬼束
補習教室		中川	陶山	内田	村岡	陶山	(鬼束)

高校3年生への配付説明資料

- (総合学習委員) 第3回説明会 7月2日(金)期末テスト終礼後
高校自習室集合(昼食を持参し食べておく)
準備物を高校自習室前に移動、最終的な動きを確認。
開閉会式進行(実行委員長)
クラスの他の生徒に設営・撤収の説明
クラスの他の生徒にポスターセッション発表・参観要領の説明

7月6日(火) 高3生はは5～7限の授業を中止し前日準備。夕課外も中止。
(正副担任で分担して生徒掌握し、SSH推進課の先生が補助する)

5限目 放送による諸注意(進行:生徒実行委員長)

会場設営

- (1) 教室の机16台、発表者用椅子4脚、休憩用椅子6脚を残して、残りは廊下に1列に並べる。並べきれない机・椅子は物理教室前に整然と並べる。
- (2) 総合学習係は高校自習室前に配布物を取りに行く。
配布物:模造紙,スティック糊,パネル(各クラス12~13枚),
クリップ(各クラス48~52個),ポスター番号札(クラス生徒分)
- (3) 教室設営と配布物受領の後、各クラス出席番号21番以降の生徒は割り当ての特別教室の設営・準備に行く。**総合学習係は速やかに移動するように誘導する。**
※ 私物は、バッグに入れ教室ロッカーに入れておく。貴重品は各自で管理する。

6, 7限目 ポスターの貼り付けとリハーサル

- (1) ポスターを模造紙に貼り付ける。
(理科棟の9教室でも作業することができる:教室配当は下表参照)
ポスター制作後は、各クラスで責任をもって理科室・使用教室の清掃を行うこと。
糊の跡やゴミを残さないよう、設備・機器等に手を触れないよう、特に注意する。
制作完了したポスターは、**各会場(下表)**に運び込む(理科室に保管しない)。
- (2) ポスターの設置場所の確認。発表場所に発表者用の椅子を1脚ずつ置く。
※ 教室ではパネルにポスターをクリップで留め。吊り下げを指示。パネルは両面に1枚ずつクリップで留め(1番の裏に5番、2番の裏に6番、3番の裏に7番4番の裏に8番といった具合に)、20人で12枚のパネルを使用する。

〈出席番号によるパネルの表と裏の組み合わせ〉

2限と3限	4限と5限	6限
1番と5番	9番と13番	17番と21番
2番と6番	10番と14番	18番(片面)
3番と7番	11番と15番	19番(片面)
4番と8番	12番と16番	20番(片面)

- (3) 教室・廊下の外窓は閉めてエアコンをオンしておく(発表当日も)。
- (4) 時間があれば発表のリハーサルを実施する。

〈理科棟で作業する場合の教室配当〉

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
物理第1教室	物理第2教室	生物講義室	生物第1実験室	化学講義室	化学第1実験室	物理第3教室	生物第2実験室	化学第2実験室

〈ポスターセッションの各会場〉

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
選択教室Ⅱ	音楽室	美術室	書道室	図書閲覧室	PC教室	視聴覚室	視聴覚室	補習科教室

7月7日(水) 高3生は終日、平常授業を中止(総合的な探究の時間にカウントされる)
高3生のみ朝課外も中止(会場設営してあるため)

1 限目 開会式 (13分間の予定。進行:生徒実行委員長)

校長室から教室へリモート配信し、高3生は自分のクラスで式に参加する。

- ① 校長 開会のことば (5分) ② 発表参加についての全体説明 (3分)
- ③ 諸注意・諸連絡 (5分) (杉本先生)

開会式終了後、高3生は各発表場所に移動して発表準備(約35分間)

2～6 限目 発表

昼食時に机・椅子を移動させてもよいが、5限目までには必ず復元する。
高校3年の耕心(教室・廊下)は可能な範囲で行う。

下表:ポスターセッション会場 および発表順の割り振り。数字は出席番号。

ポスターセッション会場 および 発表順の割り振り

会場	1Term(2限)	2Term(3限)	3Term(4限)	4Term(5限)	5Term(6限)	会場	1Term(2限)	2Term(3限)	3Term(4限)	4Term(5限)	5Term(6限)
3年1組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	選択教室Ⅱ	21～24	25～28	29～31(3名)	32～34(3名)	
3年2組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	音楽室	21～24	25～28	29～32	33～35(3名)	
3年3組	1～5	6～9	10～13	14～17	18～21	美術室	22～26(5名)	27～30	31～34	35～38	39～42
3年4組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	書道室	21～25(5名)	26～30(5名)	31～34	35～38	39～42
3年5組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	図書閲覧室	21～25	26～30	31～34	35～38	39～42
3年6組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	パソコン室	21～25(5名)	26～29	30～33	34～37	38～41
3年7組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	視聴覚室前	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)
3年8組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	視聴覚室後	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)
3年9組	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20	補習教室	21～24	25～28	29～32	33～36	37～39(3名)

発表の要領

- ① 発表者は各自、割り振られた会場で発表を行う。
- ② クラスの教室が発表会場の場合、パネルに自分のポスターをクリップで留める。
特別教室が会場の場合、ホワイトボードに棒磁石でポスターを貼る。
- ③ 各自の指定された時間(1Term, 50分間)をフルに使って、できるだけ多くの参観者に自分の成果を発表し、参観者からコメント用紙を受けとる。
発表中に受けとったコメント用紙は捨てずに保存し、翌日の自己評価や振り返りに活用する。活用後は、学級で提出する。
- ④ 参観者がポスターの前に来たら、積極的に話しかけて発表を始めてよい。
- ⑤ 理解しにくいことは時間をかけて詳しく説明したり、逆に参観者が既に理解していると思われることは短時間で簡潔に話したりと、聞き手の反応を見ながら説明に緩急をつける。発表や質疑応答の時間を区切ることはしない。
- ⑥ 発表者は全員マスクを着用する。ポスター前に置かれた机より前に出て発表してはいけない。

参観の方法

- ① 発表を意義深いものにするには、参観者(聴衆)の役割が大きい。
- ② その時間(Term)に発表がない時は、配布された要旨集をみて、興味のあるテーマを扱ったポスターのところ(会場)に行き参観する。会場を回り、できるだけ多くの発表を聞き、よい点を自分の発表に取り入れる。
- ③ 参観者は全員マスクを着用する。会場の状況を見て、混雑(密)を避けること。
- ④ セッションの趣旨を踏まえ、自分のクラスだけに留まらないようにする。1つのポスター発表や会場に長時間滞留したり、発表者を冷やかしたり、騒ぐなどして発表を妨害したりなどは、決してしないこと。
- ⑤ 発表や質疑応答中は、ポスター前に並べられた机よりも前には出ない。
- ⑥ 発表を聞いたら疑問点を必ず質問し、討論するように心がける。筆記用具を携行し必ず、指定の用紙に感想コメントを真摯に書き、発表者に手渡す。指定のコメント用紙は、事前配布するとともに会場にも準備しておく。

7 限目 撤収(～16時10分)、閉会式(リモート配信。進行:生徒実行委員長)

- ① 校長の講評(5分) ② 生徒実行委員の話(3分) ③ 諸連絡(5分)(杉本)
- 終礼(夕課外カット)